

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
818	観光振興経費		01	一般会計	
基本施策	44	資源とてなしの心を活かし、観光を振興する	款	07	商工費
			項	01	商工費
			目	03	観光費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	101	観光振興経費
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	観光振興経費
		52-3220			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	青山観光協会	管内観光地、特産物を市内外へPRし観光客を誘致する。				
本年度事業内容	青山観光協会へ補助金の交付。管内観光地の案内業務。特産物の案内業務。広域観光団体のイベントに参加。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,400	1,236	1,100
	委託料			
	補助金	1,400	1,100	1,100
	その他		136	
合計(A+B)		5,000	4,836	4,700
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源	5,000	4,836	4,700	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
観光客数	人	557,840	560,000	570,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
観光客数	観光客数は観光振興業務の絶対的な指標	人	557,840 目標 ()	560,000	570,000
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

当管内の観光は青山高原を中心とする自然景観観光であり、収益性に乏しい。僅かに二箇所のリゾートホテルが観光収益の柱的存在である。今後は「さわやかな青山」のイメージと関西方面でのネームバリューを活かし、18年度にオープンするハーモニーフォレストを中心とした農村滞在型の観光に力点を置く必要がある。このため、市内観光協議会と連携しながら、PR活動に参加するとともに、設備の整備等観光の環境を整え、入込客数を増やす。

評価	必要性	4	観光協会は合併前の旧市町村毎に組織されており、市としては統合(伊賀上野以外は解散)の方向を目指したが、当青山観光協会では、消滅同然の方針には静かな反発がある。たとえ補助金が無くなってもとの雰囲気さえある。この会員の意気込みは観光の振興には大事にしていかなければならない。これが収益を産み出す活動に繋がれば、方向性としては正しいと言える。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		